

授業科目名	授業担当者(担当)氏名	区分	単位	年間授業時間	受講学年	開講年次
作品分析Ⅱ 2-C-2-09	近松 博郎	必修	2	30時間	2	2

【授業の概要】

対位法は西洋音楽において和声法と並んで重要な作曲理論であるが、その内容については曖昧に語られがちである。本授業は豊富な曲例と実践を通じて学習者を対位法の理解に導くことを目的とする。また、とくに古典派以降の作曲家の場合、対位法的作品は晩年に多く書かれる傾向がみられるなど、たんなる作曲技法以上の意味を内包してきた側面も指摘できる。本授業の「事例研究」では、さまざまな作曲家がどのような状況下で、どのような目的のもと対位法的作品の創作を行っていたかについて考察する。

【到達目標】

対位法理論の概要を学んだのち各種の対位法的書法が実際の音楽作品の中でどのように現れているかを確認し、最終的に独力でそれらを作品中に見出し、分析できるようになる。また、曲中にみられるこうした作曲技法について音楽外的ピックと結び付けて論じる手法について学ぶ。

【授業計画】

第1回	[4/27(月) 11:20~13:00]
授業:	導入—対位法とは
事前学習:	対位法とは何かについて自分なりに説明できるように調べておく。
事後学習:	対位法的作曲部分を含む任意の西洋音楽作品の一つを選び、その音楽の概要と特に優れていると思われる点について次回授業で説明できるようにしておく。
第2回	[5/18(月) 11:20~13:00]
授業:	J. S. バッハ 《14のカノン》BWV 1087について
事前学習:	《14のカノン》の概要を調べておく。
事後学習:	同作で使用されている主題の変形手法が使われている作品を他に探しておく。
第3回	[5/25(月) 11:20~13:00]
授業:	基本事項、旋律曲線／事例研究①J. S. バッハ
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品の一つを選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第4回	[6/15(月) 11:20~13:00]
授業:	旋律リズム／事例研究②ヘンデル
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品の一つを選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第5回	[6/29(月) 11:20~13:00]
授業:	和声的基盤／事例研究③モーツァルト
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品の一つを選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第6回	[7/6(月) 11:20~13:00]
授業:	和声リズム／事例研究④ベートーヴェン
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品の一つを選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第7回	[9/14(月) 11:20~13:00]
授業:	2声対位法(1)／事例研究⑤メンデルスゾーン
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。

事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 8 回	[9/28 (月) 11:20~13:00]
授業:	2 声対位法(2) / 事例研究⑥シューマン
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 9 回	[10/5 (月) 11:20~13:00]
授業:	動機の構造 / 事例研究⑦ブラームス
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 10 回	[10/19 (月) 11:20~13:00]
授業:	3 声対位法 / 事例研究⑧リスト
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 11 回	[10/26 (月) 11:20~13:00]
授業:	3 声以上の対位法 / 事例研究⑨フランク
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 12 回	[11/9 (月) 11:20~13:00]
授業:	転回対位法 / 事例研究⑩ヴェルディ
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 13 回	[11/30 (月) 11:20~13:00]
授業:	2 声のカノン / 事例研究⑪ラヴェル
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 14 回	[12/7 (月) 11:20~13:00]
授業:	その他のカノン / 事例研究⑫ショスタコーヴィチ
事前学習:	前回の配布プリントに目を通しておく。
事後学習:	授業内で扱った作品を一つ選び、特に優れていると思われる点について説明できるようにする。
第 15 回	[1/18 (月) 11:20~13:00]
授業:	授業の総括。これまでの学習内容に関する試験の実施。
事前学習:	これまでの授業内容をよく確認しておく。
事後学習:	試験後に送付する模範解答・解説を見て、できなかった部分を復習する。

【履修資格 / 履修に必要な予備知識や技能】

2 年次生。再履修: 可。

【授業の形式】

講義(一部に演習を含む)

【成績評価の要点】

試験(第 15 回授業で実施する筆記試験): 40% 提出課題・作品発表等(レポート): 30% 受講姿勢(出席や発言など、授業への積極的な参加): 30%

成績評価は、上記の項目に基づき「優」「良」「可」「不可」で評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法】

事後学習へのフィードバックは次回授業で行う。第 6 回授業で課すレポートへのフィードバックは第 7 回授業で行い、最終回の筆記試験へのフィードバック(模範解答・解説)はメールにて送付する。

【事前・事後学習、必要時間】

1 コマにつき、合計約 180 分の事前・事後学習を必要とする。

【教材】

教材・資料はそのつど授業内で配布する。

【授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合】

オフィス・アワーで受け付けるほか、授業の前後 10 分間にも質問可。簡単な内容であればメールによる問い合わせにも対応する。